

団体活動レポート

九州ルーテル学院大学 様

設備の工夫と見直しで水道料金を大きく削減。

環境学に力を入れており、学内でもさまざまな節水活動を行っている九州ルーテル学院大学。最初に取り組んだのは、10年以上前に行った節水コマの設置でした。その後は、800名近くの学生がいることもあり、使用頻度の高い手洗い場やトイレの設備を工夫。給水バルブを絞って出る水の量を抑えたり、自動水栓を取り入れて節約。擬音装置も節水に大きく貢献しています。

さらに、花壇への水まきは従来、手作業で長時間行っていましたが、タイマー式に交換して効率的に行うことで節水につながっています。



擬音装置が取り付けられたトイレ。今後、すべてのトイレに取り付けを予定。また、昨年にトイレを改修した際、タンクの水容量の少ない節水型のものへ変更されている



養護学校の生徒が苗を植えた花壇。水まきをタイマー式に変更し、効率的に行うことで節水を実現



トイレの洗面所は、水の出し過ぎを防ぐために自動水栓に移行。衛生面でも効果的な設備だ

ところで、同大学は教職員の節水への意識が高いのも大きな特長。「節水をはじめ、資源を有効活用するためのアイデアを常時職員から募集し、取り入れています」と大学事務長、志水氏。そのひとつが、水回り設備の点検強化。傷んだボイラーポンプ・配管の改修は、水の使用量削減につながったそうです。従来のものを細かく点検しつつ、大事に使うことも同大学の節水への工夫なのです。これらの活動により、学生数や来訪者数は年々増えているにも関わらず、2007年度の水道料金は4年前に比べ、約16%の削減に成功しています。

九州ルーテル学院大学 様の主な取り組み

- 洗面所に自動水栓を取り入れ、水の出し過ぎを防止
- トイレに擬音装置を設置（順次、全トイレへ取り付け予定）
- 花壇への水まきを手動から効率的なタイマー式へ変更
- 水回りの設備点検を強化し、無駄のない水の使用を行う

手動水栓の手洗い場は給水バルブを絞ることで節水。細やかな工夫が大きな成果を生み出している

企業活動レポート

(株)熊本ホテルキャッスル 様

節水を推進するのはもちろん水の大切さも伝えて行きます。

全国から多くのお客様が訪れる熊本ホテルキャッスル。だからこそ「熊本の水の美味しさと大切さを伝えていきたいですね」と総務課の福岡さん。平成13年の節水コマ取り付けを皮切りに、アイデアで駆使してホテル全体でさまざまな活動を行っています。

まず、料理人出身である斉藤隆士社長が取り組んだのが、厨房の節水。流水で食材の解凍を行う際、少量の水で済ませることで水使用量の削減に着手。業務用冷蔵庫は水冷から空冷へと順次移行しているそうです。さらに、節水ステッカー



シャンプー・リンスをポンプ式にすることで資源を削減。水使用量の削減にもつながっている

ーを活用するなど、水の大切さを促す環境づくりにも余念がありません。

また、客室の全シャワーには節水コマを導入。熊本の水が美味しい理由と節水を呼び掛けるプレートも設置し、利用客の意識向上にも努めています。郷土の資源を愛する姿勢は、お客様アンケートでも評価をいただいているそうです。「ホテルで水の大切さを実感していただければお客様の意識が高まり、さらに大きな節水につながるはず」との期待を胸に、今後も意欲的に活動していきたいと福岡さんは目を輝かせます。



客室に備えられたプレート。熊本の水の美味しい理由と、節水への呼び掛けが書かれている。「多くのお客様に知っていただきたいですね」と福岡さん



客室のシャワーにも節水コマを設置。使用する前に比べ、約5%の節水ができている

熊本ホテルキャッスル 様の主な取り組み

- 熊本の地下水の美味しさと節水の大切さを伝えるプレートを客室に設置
- 節水コマを客室のシャワーや厨房などに設置
- 厨房で使用する業務用冷蔵庫を水冷から空冷へと移行中
- 節水ステッカーを活用して、従業員の意識向上に努める



厨房の水回りには、目立つ所に熊本市の節水ステッカーを設置。従業員の意識向上に努めている